



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社 株主通信

2022年

秋号



RETHINK WHAT'S POSSIBLE

証券コード：4902

Giving Shape to Ideas



第2四半期は複合機の生産と供給の改善が寄与し、四半期としては黒字に転じました。第1四半期は供給制約と構造改革費用の計上により厳しいスタートでしたが、年間を通じた業績回復に向けて一丸となって取り組みます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「株主通信2022年秋号」をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

2022年度第2四半期連結累計期間（2022年4月～9月、以下当期間）における当社の売上高は、5,307億円

（前年同期比19%増）となりました。

デジタルワークプレイス事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大による中国工場の稼働率の低下、半導体などの部材供給のひっ迫、物流輸送期間の長期化などの影響により複合機の供給不足が続いていました。これに対して、全社一丸となり部材の確保、生産数の拡大に努めた結果、第1四半期まで積みあがっていた受注残の解消を進捗させ、第2四半期は大幅な増収となりました。プロフェッショナルプリント事業は増収基調を維持しています。インダストリー事業も全体としては堅調に推移していますが、ディスプレイ用フィルム市場の市況低迷への対応に課題があります。また、ヘルスケア事業は、遺伝子検査市場の回復遅れの影響を受けています。

利益面においては、売上高の拡大に取り組みつつ、継続して販売管理費の増加を抑制した結果、事業貢献利益[※]は7億円（前年同期は29億円の損失）となりました。第1四半期を中心に約40億円の構造改革費用を計上したため、当期間の営業損失は51億円（前年同期は15億円の損失）となりましたが、第2四半期は、四半期の営業利益が58億円の黒字に転換しました。また、親会社の所有者に帰属する当期損失は67億円（前年同期は43億円の損失）となりました。

営業キャッシュ・フローは、製品の増産による棚卸資産の増加が影響し、78億円の赤字となりました。

第3四半期以降も、引き続き供給体制を強化することで受注残を解消し、通期の目標達成につなげます。第2四半期で業績は想定以上に回復し、為替の円安

効果なども織り込みますが、欧米での景気減速懸念やディスプレイ用フィルム市場の低迷、遺伝子検査市場の回復遅れを勘案して、業績予想は、売上高11,200億円、営業利益150億円、親会社の所有者に帰属する当期利益55億円とします。年間配当予想は、1株当たり20円で据え置きます。

私が社長に就任してから約半年が経ちますが、この期間に重視したのは、お客様や機関投資家をはじめとする外部との接点強化と、国内外の当社拠点をできるだけ多く訪問し、さまざまな層の従業員と対話し、自分の目で状況を見ることです。これにより、当社の良いところや課題など、改めて多くの気づきを得ました。個人投資家の皆様にも、説明会などを通じてお会いできることを楽しみにしています。

当社の課題の一つは、オフィス事業に依存していた収益構造を変革し、インダストリー事業、ヘルスケア事業、プロフェッショナルプリント事業で新たな収益の柱を確立することです。今回の株主通信では、これらの事業の中で、今後大きく成長する可能性のある取り組みを、特集として取り上げました。最後までご一読いただけますと幸いです。

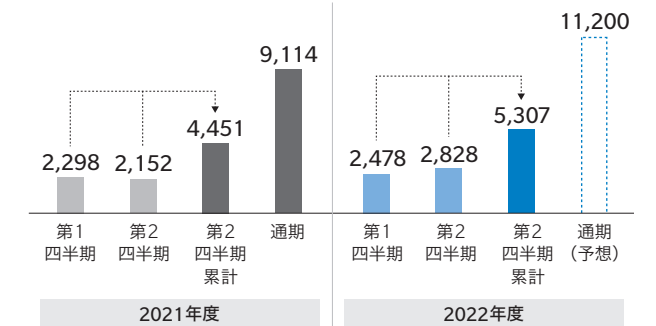
末筆になりますが、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

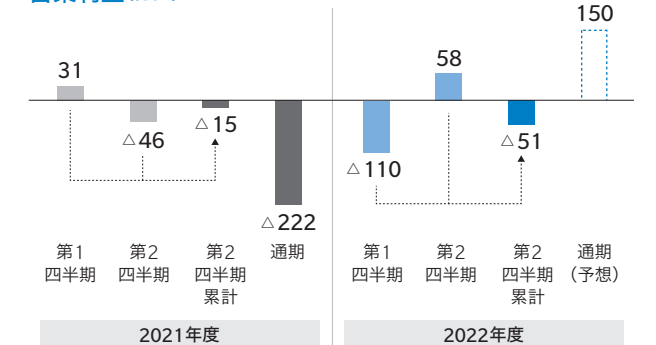
コニカミノルタ株式会社
代表執行役社長 兼 CEO

大 幸 利 充

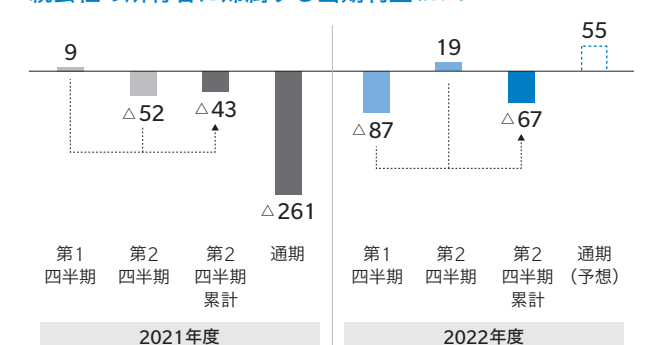
売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)



1 ※ 事業貢献利益: 売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を差し引いた利益で、当社独自の利益指標。

私たちは、カメラ・フィルムの技術を原点に、
人々の「みたい」に応える新しい価値を創造しています。



デジタルワークプレイス事業

売上構成比 51.1%

オフィス用A3カラー複合機
世界約40カ国で
トップクラスのシェア
(No.1 or 2)



プロフェッショナルプリント事業

売上構成比 21.4%

カラーデジタル印刷機
世界約40カ国で
トップクラスのシェア (No.1 or 2)



ヘルスケア事業

売上構成比 12.1%

カセット型DR(デジタルX線撮影装置)
国内クリニック市場で
トップクラスのシェア

超音波診断機器
国内整形市場で
トップクラスのシェア

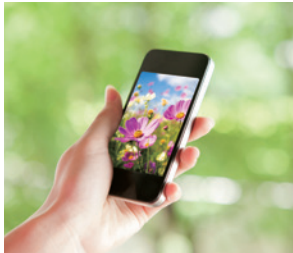


インダストリー事業

売上構成比 15.3%

光源色計測機器
世界のディスプレイ
計測器でシェア5割以上

液晶テレビ用VA-TACフィルム
世界市場で
トップクラスのシェア



体内の動きを “みえる化”する X線撮影技術の進化



高度な画像技術で 約90年にわたり世界の医療に貢献

当社は1933年に自社開発・生産の「さくらレントゲンフィルム」を発売したのを皮切りに、X線撮影装置やマンモグラフィなどを開発し、デジタル時代の現在に至るまで、「見えないものをみえる化する」高度な画像技術で、世界の医療の高度化に貢献してきました。

なかでも、当社のカセット型DR（デジタルX線撮影装置）は、日本のクリニック市場でトップクラスのシェアを誇り、疾患の早期発見・早期診断に貢献しています。

コニカミノルタのX線撮影技術の系譜

1933

自社開発・生産の「さくらレントゲンフィルム」発売

1996

CR（コンピューテッド・ラジオグラフィ）「REGIUS」シリーズを発売

2005

世界初の位相コントラストマンモグラフィ「Mermaid」発売

2011

カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR」発売

2018

「デジタルX線動画撮影システム」を発売

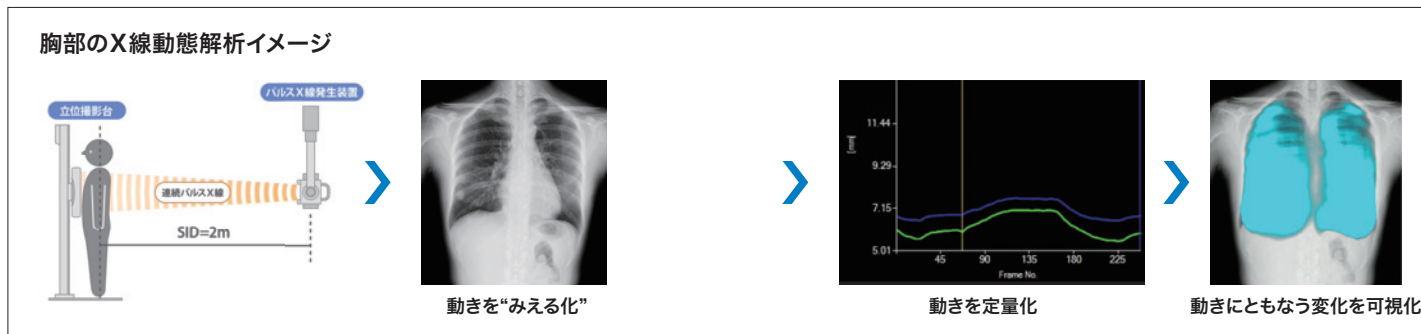


世界に先駆け X線動態解析技術を実用化

「単純X線は静止画撮影」。そうした従来の常識を覆し、当社は臓器の「動き」を観察できる画期的なX線撮影・解析技術を世界に先駆けて開発しました。

2018年に発売した「デジタルX線動画撮影システム」では、呼吸にともなう肺野内の横隔膜、肋骨などの動きを“みえる化”するだけでなく、当社独自の画像処理技術で肺の病変を見やすくしたり、横隔膜の動きをグラフ表示したりします。静止画に比べて多くの情報をわかりやすく得ることができるため、COPD（慢性閉塞性肺疾患）や肺炎、肺がんなど、さまざまな肺疾患の解明や治療、治療前後の評価を促進し、診療の高度化と効率化を実現します。

動態観察は、これまでも透視撮影装置を使えばできたも



の、高価な専用設備が必要でした。当社のシステムでは、一般の撮影室で撮影できるうえ、15秒間の動態観察における被ばく量は、通常の胸部X線撮影2回分（正面・側面撮影）程度と、被ばく量を抑えることができます。また、CTやMRIが仰向けに寝た状態で撮影するのに対して、当社のシステムは体を起こした立位で撮影できるため、日常生活における体勢に近い状態を観察できるというメリットもあります。

このシステムは現在、呼吸器内科や循環器科で活用されており、医師からは、「医療を変える技術」「もっと普及させるべき」など高く評価されています。加えて、救急現場から「重症患者や感染症患者にも使えるようにしてほしい」という期待もよせられ、2022年3月には、ポータブル型でベッドサイドでのX線動画撮影を可能にする「回診用X線撮影装置」を発売しました。

当社は今後も、医療現場との信頼関係をもとに、X線技術を進化させ、疾患の早期発見・治療や患者様のQOL向上、医療費削減といった、医療界の課題解決と発展に貢献していきます。

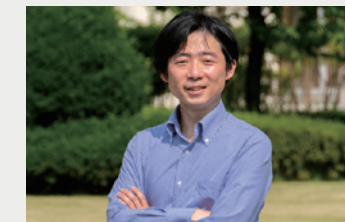
X線動態解析の撮影動画は
Webサイトでご覧いただけます

https://img-insight.konicaminolta.com/assets/uploads/2022/06/movie_healthcare_001.mp4



Close Up

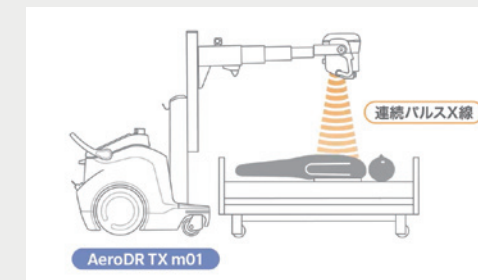
ベッドサイドでの X線動画撮影も可能に！



コニカミノルタ（株）
ヘルスケア事業本部
モダリティ事業部
中村 一起

ICU（集中治療室）などに入院する重篤な患者様は、刻一刻と病態が変化するため、迅速かつ正確な診断が常に求められます。しかしCTやMRIといった精密検査を受けることが困難なため、血圧や体温、脈拍など限られた情報で病態管理が行われるのが現状です。

当社の回診用X線撮影装置「AeroDR TX m01」を活用すれば、患者様をX線撮影室まで移動させることなく、ベッドサイドでX線動画を撮影することができます。人工呼吸器を装着している患者様であっても呼吸状態を動画像で簡便にとらえることができるうえ、生体モニタリング情報を組み合わせることで、重症化や改善の徴候を迅速に把握することができます。動画撮影が可能な回診用X線撮影装置は、これまで世の中になかったものです。この製品の価値を発信し、世に広めていきたいと考えています。



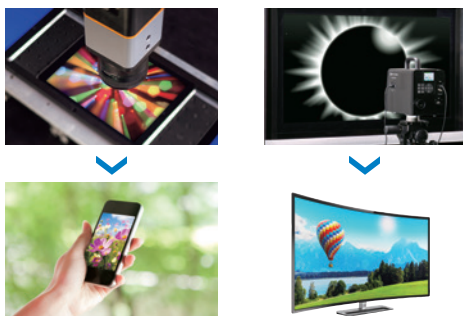
基盤事業である ディスプレイ計測事業を さらに強化



世界で50%以上のシェアを誇る コニカミノルタグループのディスプレイ計測機

当社は、ブラウン管テレビの時代からディスプレイ向けの光源色計測機器を手がけ、液晶テレビやパソコン・スマートフォンなどの情報端末の普及にともない、売上を拡大してきました。近年は、ドイツの照明関連測定器メーカー Instrument Systems社（以下、IS社）や、米国のディスプレイ検査システムメーカー Radiant社の買収によって、ディスプレイ光学検査領域全体で50%以上のシェアを確保し、ジャンルトップを維持しています。

ディスプレイ計測事業のさらなる強化のため、2022年8月には、IS社を通じて、韓国の販売技術コンサルタント兼メーカーであるキムスオプテック社を買収しました。



スマートフォンや液晶テレビなどのディスプレイ製造工程において、光学検査によって品質の維持・向上に貢献

韓国キムスオプテック社の買収で ディスプレイ検査領域の事業をさらに拡大

キムスオプテック社は、2005年からIS社のパートナーであり、韓国の大手ディスプレイメーカーや情報通信企業にディスプレイ検査システムなどを提供しています。

同社の買収により、当社グループはアジア市場における顧客接点を強化するとともに、今後進化していくVR（仮想現実）／AR（拡張現実）ディスプレイ検査領域での事業拡大を目指します。

また、キムスオプテック社の製品や顧客基盤を活用し、今後の成長が見込まれるセキュリティ機能に関わる3Dセンサー（本人認証や目線のトラッキング）検査領域に新たに参入します。情報通信分野における新たな計測ニーズを捉え、計測事業のさらなる成長を図ります。



今後の進化が期待されるVR（仮想現実）／AR（拡張現実）のディスプレイ検査事業にも注力

ヒトの感性を “みえる化”する 「EX感性ソリューション」



脳工学に基づいた画像解析で“売れるデザイン”を提案

最先端の感性脳工学に基づいた画像解析で、デザイン制作を支援するオンラインサービス「EXplainable感性®ソリューション」（以下、EX感性ソリューション）を開発しました。商品パッケージやWebサイト、店舗デザインなどマーケティング活動に関わるあらゆるデザインについて、ヒトがどこに注目するかを科学的に評価し、消費者が買いたくなるデザインを提案します。

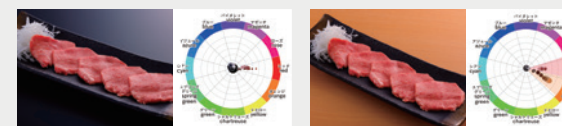
この新サービスを、プロフェッショナルプリント事業において、カラーデジタル印刷機の販売とあわせて展開することで、顧客企業への提供価値を高めていきます。



「EX感性ソリューション」の活用事例

飲食店のWebサイトとメニューを刷新し、 予約数が172%増に

配色が与える印象の分析データをもとに、飲食店のWebサイトと店内メニューを刷新。Webは高級感と風格を感じさせる配色、メニューはくつろいだ印象を与える配色にすることで、来店予約数が172%増となりました。



「風格のある」「おごそか」

「くつろいだ」「家庭的な」

ポスターのデザインを改善し、 注目性が3.1ポイントアップ

電車の中吊りポスターのデザイン制作過程で、ヒトがどこに注目するかを分析。最も訴求したい文字の配置やサイズを調整することで、すっきりしながらも訴求点が目立つデザインとし、注目性を3.1ポイント向上させました。



トピックス

60年以上を経て進化し続ける、コニカミノルタのプラネタリウム

LEDドームシステムを採用した「コニカミノルタプラネタリアYOKOHAMA」を2022年3月にオープンしました。同システムは、現在主流のプロジェクターによる投映方式とは異なり、自発光するLED素子を利用することで、これまでにない高輝度・広色域で臨場感ある表現を実現することができます。2021年10月に開業した「コニカミノルタプラネタリウム満天NAGOYA」に国内で初めて導入しました。



1958年、国産初のプラネタリウム「ノボカ方式1型」完成。阪神パークの科学大博覧会に出品



2004年以降、5つの直営館を運営

当社は、1958年に国産初のプラネタリウムを開発して以来、プラネタリウム機器や投映システムの開発・製造やコンテンツ制作、施設運営をトータルに手がけ、現在は東京を中心に5つの直営館を運営しています。これからもプラネタリウムのリーディングカンパニーとして、お客様に非日常的な感動体験を提供していきます。



「プラネタリウム満天NAGOYA」(2021年10月開業)、「プラネタリアYOKOHAMA」(2022年3月開業)に、日本初のLEDドームシステムを導入



世界最大のAIコンペ「Kaggle」で金メダルを受賞

当社のデータサイエンティスト、AIエンジニア3名が、世界最大のAIコンペプラットフォーム「Kaggle」主催の「Image Matching Challenge 2022」で10位に入賞し、上位入賞者に授与される金メダルを受賞しました。デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する当社は、デジタル人材の育成に注力しており、今回の受賞はその成果の一つです。今後も、DXによる既存ビジネスの進化や新規ビジネスの創造に取り組んでいきます。



Information

「ニューイヤー駅伝」でさらなる高みを目指します!

毎年元日に開催される全日本実業団対抗駅伝競走大会「ニューイヤー駅伝」。再出発の第一歩となった2022年から1年、チーム一丸となってさらなる高みを目指して挑戦します。ぜひ温かいご声援をよろしくお願いいたします。



TBS系列全国28局フルネット・群馬テレビにて
生中継 8時30分～放送開始(予定)

企業情報

会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	コニカミノルタ株式会社
証券コード	4902(東証プライム)
創業	1873年(明治6年)
株式会社の設立	1936年(昭和11年)
資本金	37,519百万円
従業員数	39,647名(連結)
本社	〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー

役員

取締役

大幸 利充	峰岸 真澄
程 近智(取締役会議長)	鈴木 博幸
橘・フクシマ・咲江	山名 昌衛
佐久間 総一郎	畑野 誠司
市川 晃	

※取締役 程 近智、橘・フクシマ・咲江、佐久間 総一郎、市川 晃、峰岸 真澄の5氏は、「社外取締役」であり、株式会社東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員です。

※取締役 大幸 利充、山名 昌衛、畑野 誠司の3氏は執行役を兼務しています。

執行役

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

執行役会長 山名 昌衛

専務執行役 藤井 清孝
畑野 誠司

常務執行役 葛原 憲康
江口 俊哉
岡 慎一郎

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,200,000,000株
発行済株式の総数	502,664,337株
株主数	154,221名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)*
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	85,706	17.3
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	30,962	6.2
株式会社三菱UFJ銀行	12,000	2.4
株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	11,875	2.4
日本生命保険相互会社	10,809	2.2

※持株比率は、自己株式(6,207,782株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	3月31日もしくは9月30日またはその他決定された基準日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711(平日9:00～17:00) ※通話料無料
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告(http://konicaminolta.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合、東京都において発行する日本経済新聞に掲載。

単元(100株)未満株式の
買い取り・買い増し制度をご活用ください。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

証券会社にお取引口座をお持ちの株主様は、証券会社にご相談ください。

その他株式のお手続きに関するお問い合わせは

☎0120-232-711 (平日9:00～17:00)

通話料無料(三菱UFJ信託銀行証券代行部)

株主優待

1 株主様限定ご優待！ キンコーズの年賀状サービス

株主優待割引として最大60%引きです。
オンライン、または店頭でお申し込みください。

受付期間：2022年12月28日(水) 15:00まで



株主様限定！

最大60%OFF
キンコーズの年賀状サービス
年賀状受付期間：2022年12月28日(水) 15:00まで

オンラインなら送料も無料！

ご注文方法	期間	割引率
オンライン	年末最終受付まで	60%OFF
店頭受付		50%OFF

詳しくはこちら

店舗 本冊子をお持ちのうえ、クーポンコードをお伝えください

Web キンコーズ・オンラインの発注画面でクーポンコードをご入力ください

クーポンコード お問合せ

キンコーズ・お客様相談センター
0120-001-966 (平日 9:00~18:00)

更に… セルフサービスコピー通年特典

株主優待価格	白黒コピー 7円 <small>税込価格</small>	カラーコピー A4サイズ 31円 <small>税込価格</small>
--------	------------------------------	--------------------------------------

この冊子をお会計時にご提示、または事前登録のうえスマートフォン画面をご提示ください

優待適用期間：2023年9月30日(土)まで

2 当社製 カレンダーの進呈

国内の個人株主の皆様^{*1}に、
当社製カレンダーを
進呈します^{*2}。

※1 9月30日時点で100株以上を
お持ちの皆様

※2 11月末から年末にかけて随時
発送します。



Webサイト「個人投資家の皆様へ」を ぜひご覧ください。

株価情報や当社の経営戦略、イベントの動画などがご覧いただけます。



<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/individual/index.html>



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社

〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー
法務部 TEL: 03-6250-2000

<https://konicaminolta.com>

この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。(2022年11月発行)



エコマーク商品
古紙/パルプ配合率60%
19 107 003
王子製紙株式会社



地球環境に配慮したエコマーク認定用紙とVOC(揮発性有機化合物)を含まない植物油インキを使用しています。